



炉端だより



＊会員による薪割を再開しました＊

日本民家園のある生田緑地には多くの木々があり、林になっていますが、この林を維持・管理するために適宜、管理伐採が行われています。「炉端の会」は民家園に移築された家の囲炉裏で火を焚いており、コロナ禍以前の調査では、冬場の寒い日には10Kg近い薪を燃やします。使用する薪は生田緑地で管理伐採された木を活用しています。伐採された木は適度な長さに玉切りされて生田緑地の管理事務所そばに置かれていますので、この木を原家前の広場で、油圧式の薪割機を使用して薪にしています。



この薪割作業は民家園の職員と「炉端の会」のメンバーが協力して行っていましたが、2020年3月に新型コロナで活動休止となって以降は民家園職員だけの作業となっていました。昨年5月に新型コロナが5類感染症に移行されて以降は「炉端の会」の活動内容も徐々にコロナ禍以前の状態に戻ってきましたが、薪割に関しては「炉端の会」がお手伝いすることはありませんでした。昨年末、各曜日班の薪割担当をまとめておられるKさんが園と話し合い、今年からは「炉端の会」も薪割のお手伝いをするようになりました。薪割は毎月平日に3～4回行うこととなり、1月は10日(水)、18日(木)、26日(金)に実施されました。